

全国パーキンソン病友の会 新潟県支部 令和7年度医療講演会

パーキンソン病におけるダンス活動

PDダンスカフェ in 新潟

参加者
募集！

仲間と出会いたい方、新しいことに挑戦し続けていたい方のために・・・

『PD ダンスカフェ』では車いすや椅子に座ったまま出来るダンスの紹介やパーキンソン病のレクチャー、カフェタイムでの交流・相談会を通して、パーキンソン病との付き合い方や悩み、疑問、情報等が共有できるひとときを提供しています。

今回は、福岡からパーキンソン病の専門医と専門看護師をお招きして開催します。

2025

11/23(日) 13:00~15:30 ごろまで (開場 12:30)

会場 新潟市総合福祉会館 多目的ホールほか (新潟市中央区八千代 1-3-1)

対象 パーキンソン病をお持ちの方、そのご家族や支援者など、パーキンソン病と共に暮らす方々、パーキンソン病や PD ダンスについて学びたい方

定員 40 名程度

参加費 一般 500 円 (当日現金支払い)



パーキンソン病と共に暮らす、すべてのみなさまへ

会場アクセス

新潟市総合福祉会館 (新潟市中央区八千代 1 丁目 3 番 1 号)

◆新潟駅万代口 (バスターミナル) からバスで

【のりば番号 4】 八千代橋線 [附船町経由] 入船営業所ゆき
「新潟万代病院前」下車

【のりば番号 4】 新大病院線 [川端町経由] 新潟大学病院ゆき
「新潟万代病院前」下車

【のりば番号 8】 水島町線 [県庁前経由] 美咲合同庁舎ゆき・西部営業所ゆき

「総合福祉会館前」下車

【のりば番号 8】 上所線 [幸西経由] 女池愛宕ゆき・ユニゾンプラザ前ゆき
「新潟万代病院前」下車

※のりば番号は新潟駅万代口バスターミナルのもの

◆徒歩で

新潟駅万代口から 15 分 (約 600m)

バスセンターから 5 分 (約 400m)



主催：文化庁、一般社団法人パラカダンス、パーキンソン病友の会新潟県支部

協力：坪井義夫教授、Dance for PD Japan～パーフェクトダンス～

文化庁委託事業「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



PDダンス

Dance for PD Japan



PDダンス®とは？

車いすや椅子に座ったまま出来るダンスで、PDには「パーカークダンス」と「パーキンソン病」2つの意味があります。アメリカで始まった「Dance for PD®」の活動をもとに、日本では2019年～福岡にて文化庁の委託事業として展開し全国に広がりをみせています。PDダンスは五感や想像力を働かせながら振り付けと自由表現を組み合わせて踊ることで、脳内神経が活性化され心もほぐれる効果があります。はじめての方でも無理なく安心してご参加いただけます。

新潟では初めての開催となる今回は福岡からPDダンス®の指導者をお迎えし皆さんと一緒に踊ります。

スケジュール

12:30～	受付開始
13:00～13:05	ごあいさつ・事業の説明
13:05～13:30	レクチャータイム（坪井）／多目的ホール（2F）
13:30～13:35	準備
13:35～14:35	PDダンスタイム（マニシア）／多目的ホール（2F）
14:35～14:45	休憩・移動
14:45～15:30	交流・相談タイム（坪井・山本）／大集会室（5F）・501（5F）



◀ 映像リンク
ダンスカフェの様子をご覧いただけます。

※カフェタイムでは当事者のグループ（大集会室）とご家族を含む介護者のグループ（501）が

2つのお部屋に分かれて、それぞれお話しできる場を設けます。

※交流・相談タイムにはパーキンソン病専門の医師と看護師が立ち合います。

お申込み方法

以下の必要事項をメール・FAX・お電話のいずれかにてお知らせください。

① 参加者の人数と氏名

例) 福岡花子（当事者）・福岡太郎（夫）の2名で参加します。

② 参加者の年齢（年代）

③ 顔出しの可不可（SNSや文化庁の報告書用に写真を使用する場合があります）

④ 歩行に不安のある方はお知らせください。（車いすや歩行器使用の有無等）

⑤ 事前に相談したいことがある方はお知らせください。（当日、その場でもご相談いただけます）

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人パラカダンス 担当：真崎

メール：info@pddance.jp 携帯：090-8666-0917 FAX：092-831-8950

レクチャー講師・カフェタイム立ち合い／坪井義夫教授



1986年千葉大学医学部卒。同大学神経内科に入局後、松戸市立病院等を経て1997年より福岡大学神経内科所属。2000年から3年間米国Mayo Clinic留学後、再び福岡大学病院に所属し、2011年10月～2024年3月まで脳神経内科学教室教授を務める。脳神経内科領域でも運動障害学、特にパーキンソン病を専門として臨床、研究をする傍ら、友の会顧問活動を通じて社会活動を行っている。現在は、つつみクリニックにてパーキンソン病専門外来センターのセンター長として勤務の他、順天堂大学共同研究講座特任教授も務める。



▲PDダンス
ホームページ

PDダンスファシリテーター／マニシア



ニューヨークにて長期間活動後、福岡を拠点に国内外で多世代かつ多様な方々とコミュニティダンスを展開。ダンス・ムーブメント・セラピストとしても生きづらさを抱えている人々や支援者を対象とした活動を意欲的に取り組んでいる。マークモーリス・ダンスグループでDance for PD®の指導者育成講座を修了し、2016年より福岡でPDダンス®を始める。2019年より「PDハウス」でも実施。さらに昨年日本人で初めてのDance for PD®の認定講師となり、ダンスファシリテーター養成講座にて後進の育成にも取り組んでいる。



▲PDダンス
FBページ

看護師・カフェタイム立ち合い／山本澄子



1994年国立指宿病院付属看護学校卒業。同年より福岡大学病院に入職し、2002年から脳神経看護を経験。2017年からパーキンソン病のデバイス補助療法に携わり、2019年World Parkinson Congress(WPC)にケアパートナーラウンジ日本人スタッフとして参加する。難病看護師、パーキンソン病療養指導士として施設内のパーキンソン病の看護や様々な職種との連携調整を行うとともに、PDダンスでは当事者だけでなく、ご家族（ケアパートナー）の方々への支援に取り組んでいる。



▲YouTube